

科目名	ファッションビジネス理論と演習Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションプロデュース学科	期	通年
コース	ファッションプロデュースコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 50 % 実習 50 %
時間数	120	作成者	新家章秀

【科目の到達目標】

前期は、ブランドリーダーの視点でアパレルの各業務を知り改善する力をつけ、前期の目標として成果プレゼンテーションを行う「(仮)アパレル各業務改善の推進案」、後期については、前期に学んだアパレルの業務改善を軸にして、利益構造が構築した新しいファッションビジネスが提案できる力を習得。成果プレゼンのテーマは「(仮)利益を出す新ファッションビジネス提案」

【科目の概要】

アパレル業界で仕事をしてリーダーになれば、その部門の業務改善を行う力が必要となります。また、ブランドリーダーになれば、利益構造を構築する力を習得しブランド事業を推進することが重要です。1年間の授業で、業務を改善する力と利益構造を構築する力をつけて、将来のブランドリーダーを目指す人材を育成します。

【授業計画 前期

90分/コマ

後期

1	・生販バランス（売上と仕入れ）	31	・商品のコスト（原価率）
2	演習	32	演習
3	・消化率と換金率を上げる	33	・店舗の利益構造を知る
4	演習	34	演習
5	・MD部門の業務改善	35	・変動費と固定費の違い
6	演習	36	演習
7	・商品開発部門の業務改善	37	・アパレル会社の利益構造を知る
8	演習	38	演習
9	・生産部門の業務改善	39	・売上と経費、粗利と経費バランス
10	演習	40	演習
11	・物流部門の業務改善	41	・管理会計とは何か・その目的
12	演習	42	演習
13	・販売促進部門（宣伝・PR）の業務改善	43	・フランチャイズと直営店の運営の違い
14	演習	44	演習
15	・店舗開発部門の業務改善	45	・分析指標（商品版ROI、SKU稼働率など）
16	演習	46	演習
17	・店舗運営部の業務改善	47	・他業種の利益構造との違いを知る
18	演習	48	演習
19	・店長会議を組み立てる	49	・ファッションと他業種とのコラボ事業
20	演習	50	演習
21	・経営企画部門の仕事とは、	51	・アパレル業界の海外進出について
22	演習	52	演習
23	・各部門の業務改善PJTの推進	53	・リスク管理について
24	演習	54	演習
25	プレゼンテーション1日目	55	プレゼンテーション1日目
26		56	
27	プレゼンテーション2日目	57	プレゼンテーション2日目
28		58	
29	フィードバック	59	フィードバック
30		60	

【成績評価方法】

プレゼンテスト50%、提供課題40%、授業態度10%

【教科書・参考書】

プリントを配布

【教材・教具】

プリントを配布

科目名	ファッションデザイン論Ⅱ	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 70% 実習 30%
時間数	60	作成者	杉山佳美

【科目の到達目標】

ファッションビジネスに即したアパレル製品のデザインと企画力を講義と演習により修得する。
また、任意に想定したアパレル企業に向けた商品の企画提案書類が作成できる。

【科目の概要】

現在のアパレル市場を意識したマーケティング及びビジネス的視点で企画立案しデザインする。また、既存の企業、市場を対象にした商品デザインを企画書類にまとめプレゼンテーション発表する。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	デザイン基礎知識 1		16 企業リサーチ
2	デザイン基礎知識 2		17 企業リサーチ
3	デザイン基礎知識 3		18 ターゲット分析
4	デザイン基礎知識 4		19 ターゲット分析
5	デザイン基礎知識 5		20 ブランド企画書 作成
6	ブランド考察 1		21 ブランド企画書 作成
7	ブランド考察 2		22 ブランド企画書 作成
8	ブランド考察 3		23 ブランド企画書 作成
9	商品企画レクチャー		24 ブランド企画書 作成
10	企画書作成		25 ブランド企画書 作成
11	企画書作成		26 ブランド企画書 作成
12	企画書作成		27 ブランド企画書 作成
13	企画発表 プレゼンテーション		28 ブランド企画書 作成
14	企画発表 プレゼンテーション		29 企画発表 プレゼンテーション
15	前期試験		30 後期試験

【成績評価方法】

出席率 10% 課題 30% 試験 60%

【教科書・参考書】

『スタイリングブック』グラフィック社 その他、ファッション雑誌など

【教材・教具】

筆記用具 コンピュータ 描画用具 ケント紙 ペン マーカー
配布レジュメ 画像投影用大型TVモニター

科目名	服飾実習Ⅱ	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 10% 実習 90%
時間数	180	作成者	上田久美子

【科目の到達目標】

理論を技術に結びつける。

デザイン画をみてパターンから縫製まで製作できる技術を身につける。

【科目の概要】

ファッション業界において、商品企画をするために洋服の構造を理解することは必要不可欠である。

企画を立てるにあたって必要な縫製技術と知識への理解を深める。

【授業計画】

90分/コマ

前期		後期	
1,2,3	襟のバリエーションドレーピング	46,47,48	カットソーの製図、縫製
4,5,6	襟のバリエーションドレーピング	49,50,51	カットソーの縫製
7,8,9	ショールカラー製図・トワール組 ステンカラー製図・トワール組	52,53,54	上田学園コレクション作品
10,11,12	テーラードジャケットの製図・縫い代つけ	55,56,57	上田学園コレクション作品
13,14,15	テーラードジャケットのトワール組	58,59,60	上田学園コレクション作品
16,17,18	部分縫い ・箱ポケット	61,62,63	上田学園コレクション作品
19,20,21	部分縫い ・雨蓋ポケット	64,65,66	上田学園コレクション作品
22,23,24	テーラードジャケットの縫製	67,68,69	上田学園コレクション作品
25,26,27	テーラードジャケットの縫製	70,71,72	上田学園コレクション作品
28,29,30	テーラードジャケットの縫製	73,74,75	上田学園コレクション作品
31,32,33	テーラードジャケットの縫製	76,77,78	上田学園コレクション作品
34,35,36	テーラードジャケットの縫製	79,80,81	上田学園コレクション作品
37,38,39	テーラードジャケットの縫製	82,83,84	上田学園コレクション作品
40,41,42	テーラードジャケットの縫製	85,86,87	上田学園コレクション作品
43,44,45	まとめ・テスト	88,89,90	まとめ・プレゼン

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

上田安子『立体式洋裁』服飾手帖社 改訂版

上田安子『縫い方全書』服飾手帖社 改訂版

『テーラリングテクニック』・『ジャケット』上田安子服飾専門学校 最新版

【教材・教具】

ミシンなど縫製機器、洋裁道具一式・製図道具一式

科目名	コンピュータ演習II-A	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	60	作成者	積高之

【科目の到達目標】

ECサイトの開設と運営 自らのブランドを擬似的ないし実際にD2Cブランドとして立ち上げ、そのままECで販売してみる。そのための戦略設計 作成ツールの選定など
各セクションでは最新のツールやアプリを使用するため、その使い方を実践的に覚える。

【科目の概要】

PCを扱うにあたって必要なスキルは、技術の進歩や利用者の感覚の変化により、どんどん変わっていきいている。ファッション・ビジネスに携わる人にとって、ECの存在はもう無視できない。
この授業ではECサイトを立ち上げて運用することで、ビジネスの基礎を含めたデジタルスキルの初歩を身につける、

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	ガイダンス PCスキルチェック		16 ECツールの概要
2	初期のツール解説		17 ECツールの選定
3	事業計画 基本		18 サイト作成 基礎
4	事業計画 アレンジ		19 サイト作成
5	EC化計画 基礎		20 サイト作成
6	EC化計画 ビジネスモデル		21 サイト作成
7	チームビルディング		22 コンテンツ作成
8	チームでの役割		23 コンテンツ作成
9	ビジネスモデル作成		24 コンテンツ作成
10	ビジネスモデル作成		25 発表
11	レポート/発表		26 発表
12	発表についての意見交換		27 講評・購入
13	商品の検討 情報収集の方法		28 購入した結果発表
14	商品の検討 検索と比較		29 総評
15	テスト レポート		30 テスト レポート

【成績評価方法】

提出物・発表評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

プリントを配布

【教材・教具】

筆記用具/PC/スマートフォン

科目名	コンピュータ演習Ⅱ-B	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 30% 実習 70%
時間数	60	作成者	松木 麻衣

【科目の到達目標】

アパレル業界において必要となる、illustrator・Photoshopの基礎技術を持った人材の育成。

【科目の概要】

illustrator・Photoshopを活用し、実践的な資料作成の技術を学ぶ。

【授業計画】

前期		後期	
1	illustrator 復習	16	縫製仕様書作成
2	ハンガーイラスト	17	
3	ペンツールを使ったハンガーイラストの作成	18	
4		19	
5		20	下げ札作成
6	柄作成	21	
7	柄を作成しハンガーイラストに反映させリアルなイラストにする	22	
8		23	DM作成
9		24	
10	縫製仕様書作成	25	
11	詳細な縫製仕様をillustratorを使用して作成する	26	プロモーション資料作成
12		27	
13		28	
14		29	
15	前期試験	30	後期試験

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

プリントを配布

【教材・教具】

筆記用具

科目名	キャリアデザインI	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	後期
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 50% 実習・演習 50%
時間数	30	作成者	今 恒男

【科目の到達目標】

一人ひとりが自分の将来の目標を具体的に考え、そこに到達するために今後どのような努力をするべきか、実現を想定したプロセスと起こすべきアクションを考えられるようになる。

【科目の概要】

将来の夢をかなえるには、具体的な将来のイメージを描くこと、客観的な自分理解が必要です。今の自分に足りないものを身につけ、強みを磨くことで「夢」を現実的な「目標」に変えることが出来るからです。本教科では様々なワークシートや演習を用い、自己理解を深め、一人ひとりが自分のキャリアデザインを考えます。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 ・キャリアデザインとは
キャリアに対する考え方とは、基本マナーの習得、適性検査受検
- 2 ・自分を知る①
現在の自分の状態を知る
- 3 ・自分を知る②
過去を振り返り、積み重ねてきた経験と気持ちの変化を確認する
- 4 ・自分を知る③
過去を振り返り、自分自身の興味や関心のきっかけを探る
- 5 ・自分を知る④ ～まとめ～
自分自身の情報を整理し、アピールすべき自分の特徴を抽出する
- 6 ・将来イメージを持つ
既に成功している先輩が通った道を追体験し、参考にする
- 7 ・仕事の種類を知る
FB業界にはどのような仕事が存在するのか、職種名ではなく仕事の内容で考える
- 8 ・将来像を描く①
自分は何のために働くのか、働く目的を考える
- 9 ・将来像を描く②
仕事の拡がりを考える
- 10 ・将来像を描く③
自分の将来像について、イメージマップを作成する
- 11 ・先輩のキャリアを調べる①
業界で活躍する先輩のキャリアについて具体的に調べる
- 12 ・先輩のキャリアを調べる②
業界で活躍する先輩のキャリアについて具体的に調べる
- 13 ・先輩のキャリアを調べる③
調べた内容について各グループで発表する
- 14 ・メンバーへのフィードバック
グループのメンバーへフィードバックを行い、自己理解の気づきを促す
- 15 ・行動計画を立てる
これからの目標と、そのために必要となる課題を明確にした計画を立てる

【成績評価方法】

- ◎課題・提出物 50%
- ◎試験（修業試験、確認テスト） 20%
- ◎授業態度 30%

【教科書・参考書】

『自分で「考え」、自分で「動く」 キャリアテキスト』 株式会社パーソナルヴィジョン研究所・著

【教材・教具】

各種ワークシート

科目名	経営分析	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	後期
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 80 % 実習 20 %
時間数	30	作成者	上田久美子

【科目の到達目標】

貸借対照表と損益計算書が読めるようになり、財務諸表分析を行えるようになる。
簿記3級レベルの修得。

【科目の概要】

資産・負債・純資産・収益・費用の5要素の関係が理解できる。
貸借対照表、損益計算書を読むときのポイントをつかむ。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 オリエンテーション、財務諸表分析とは
- 2 貸借対照表とは
- 3 資産・負債・純資産
- 4 損益計算書とは
- 5 収益・費用
- 6 売上原価・資本金
- 7 単式簿記
- 8 単式簿記
- 9 複式簿記
- 10 複式簿記
- 11 決算書
- 12 貸借対照表
- 13 損益計算書
- 14 まとめ
- 15 テスト

【成績評価方法】

平常点(授業態度)10% 理解力(小テスト,総合テスト)50% 提出物40%
以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。

【教科書・参考書】

・柴山政行『いちばんわかりやすいはじめての簿記入門』成美堂出版2019年
・小沢浩『簿記がわかっちゃう魔法の書』日本実業出版社2019年□

【教材・教具】

筆記用具・配布プリント

科目名	服飾素材論Ⅱ	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	前期
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 100%
時間数	30	作成者	河本 育子
【授業の到達目標】 アパレル商品の企画・生産・取扱いに必要な、素材の専門知識を持つ人材の育成を目指す。 アパレル素材の役割を理解し、繊維の専門知識を深める。			
【授業概要】 ユニクロのヒートテックに代表されるように、アパレルにおける素材の機能性はますます重要になってきている。 講義を通じて繊維の機能性、加工による付加価値について理解。さらに布地構造による基本特性を修得する。 アパレル商品取り扱い、企画に必要な素材知識の体系的理解を深める。			
【授業計画】 90分/コマ			
1	オリエンテーション		
2	繊維の種類 繊維の長さ、太さ 糸・生地の種類(織物・編物)について		
3	繊維の種類と特性		
4	天然繊維・植物繊維(1)綿		
5	天然繊維・植物繊維(2)麻		
6	天然繊維・動物繊維(1)毛		
7	天然繊維・動物繊維(2)絹		
8	化学繊維(1)再生繊維		
9	化学繊維(2)半合成繊維		
10	化学繊維(3)合成繊維		
11	繊維に求められる機能と着心地 (生地の加工・機能性について)		
12	織物の代表的な組織とその特徴		
13	編物の代表的な組織とその特徴		
14	総復習(テスト傾向と対策)		
15	総合テスト		
【成績評価方法】 課題提出物 60% テスト30% 授業態度10%			
【教科書・参考書】 ・一見 輝彦、『わかりやすいアパレル素材の知識』,ファッション教育社, 2012年 ・『生地の事典』株式会社みずしま加工 2013年			
【教材・教具】 筆記用具			

科目名	服飾素材論Ⅲ	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	後期
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 100%
時間数	30	作成者	河本 育子

【授業の到達目標】

クリエイター、マーチャンダイザーには素材の知識と、それらを商品企画に組み立てる能力が必要である。素材流通の動向が社会情勢などに関連していることを理解し、情報をもとに素材の組み立て(商品企画)ができるようになることを目標とする。

【授業概要】

変化するマーケットやチャネルに伴い、モノ作りもグローバル、ダイバーシティへの対応を余儀なくされている。素材の本質は変わらないまでも、それに対応できる専門知識と応用できる能力が必要。この授業では、講義により素材の専門知識を深め、市場動向を踏まえた素材の組み立て(商品企画)を実践していく。

【授業計画】

- 90分/コマ
- 1 オリエンテーション
 - 2 ファッショントレンドと素材・アパレル製品の流通経路
 - 3 1.トレンド分析
 - 4 感性分類
 - 5 素材感・風合いの分類
 - 6 トレンド背景と素材イメージ
 - 7 2.ファッションディレクションを作成
 - 8 トレンドのテーマとコンセプト設定
 - 9 トレンド分析のビジュアル化
 - 10 イメージマップ作成
 - 11 素材・デザインに落とし込む
 - 12 (マップ作成)
 - 13 (マップ作成)
 - 14 3.プレゼンテーション
 - 15 ↓

【成績評価方法】

課題提出物 80% 授業態度20%

【教科書・参考書】

・一見 輝彦、『わかりやすいアパレル素材の知識』,ファッション教育社, 2012年
・『生地の事典』株式会社みずしま加工 2013年

【教材・教具】

筆記用具

科目名	英語Ⅱ	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 100% 実習 %
時間数	60	作成者	佐藤柴乃

【科目の到達目標】

海外研修にて、簡単な英語を用いて伝えたいことを英語で伝えることができる人材を育成する。

【科目の概要】

英語コミュニケーション習得に必要な基礎的インプットとアウトプットを学ぶ。発音、中学英語レベルの語彙力と文法を身につけ、それらを用いてリスニングとスピーキングができる力を鍛える。前期では英語の基礎となる発音と文法、後期はリスニングとスピーキングに重点を置く。英語の知識だけでなく、自分で英語を学習する方法も学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	オリエンテーション、基礎力判定テスト	16	オリエンテーション、基礎力判定テスト
2	発音記号	17	リスニング①、ディクテーション
3	発音①、語彙	18	リスニング②、ディクテーション
4	発音②、語彙	19	リスニング③、ディクテーション
5	発音③、語彙	20	リスニング小テスト
6	発音総まとめ、小テスト	21	個人スピーチ: テーマ決定、内容作成
7	英文法: 日本語と英語の違い、英語の語順	22	個人スピーチ: 内容作成、練習
8	英文法: 英語で使う**詞とその役割	23	個人スピーチ: 発表
9	英文法: 動詞の種類と変化、助動詞	24	グループプレゼンテーション: テーマ決定、内容作成
10	英文法: 英語の時間の考え方	25	グループプレゼンテーション: 内容作成
11	英文法: 便利な不定詞と動名詞	26	グループプレゼンテーション: 内容作成
12	英文法: 同格・比較・最上級	27	グループプレゼンテーション: 練習
13	英文法: 関係詞	28	グループプレゼンテーション: 練習
14	英文法総まとめ	29	グループプレゼンテーション発表
15	期末テスト	30	期末テスト

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

自作のパワーポイントスライド、プリントを配布

参考書: 総合英語「Evergreen」いっずな書店編集部、2017年1月15日刊行

【教材・教具】

筆記用具、A6もしくはB7サイズノート、スマートフォン、プロジェクター、スピーカー

科目名	産業論	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	前期
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義40% 実習60%
時間数	30	作成者	橋本沙也加

【科目の到達目標】

ブランドや商品などをクリエイションするための手法の基礎を、講義や実習を通して複合的に学び、デザインアイデアの源泉からプロダクトアウトまでを、一貫した流れで構築する力を身に着ける。海外でも実践される新たな学習スタイルを取り入れながら、デザインクリエイションについて学ぶことができる。

【科目の概要】

クリエイションの種になる思考法やマーケティング手法を吸収し、学びの過程で各学生が掲げるテーマを実習によってアウトプットすることで手法の定着化を図る。最終的には、総合的なクリエイションの知識・企画技術を動員してオリジナルのファッションブランドの企画書を構築することを目指す。□

【授業計画】

90分/コマ

- 1 オリエンテーション 自己紹介 / 授業の進め方について
- 2 講義 1 : 時代は変わった。組織は？
- 3 実習 : 時代や組織について考えてみよう。
- 4 講義 2 : 「統制」から「自走」へ
- 5 実習 : 自走する組織とはどのようなものか。
- 6 講義 3 : 強がりの仮面を外す
- 7 実習 : あなたが思うリーダーとは？
- 8 講義 4 : チームを動かす北極星
- 9 実習 : あなたにとって仕事とは？
- 10 講義 5 : 好奇心を解き放つ
- 11 実習 : 自分自身の好奇心に触れてみよう
- 12 講義 6 : たったひとりから、影響の輪は広がる
- 13 実習 : 組織論を学んであなたはどのようなことをしていくのか
- 14 全体の講義を受けて資料作成
- 15 発表

テスト&補講週間

【成績評価方法】

提出物の評価 40%、 期末試験、発表、参加度 45% 授業出席 15%

【教科書・参考書】

プリントや授業テキストデータを配布

【教材・教具】

PC、専用のノート、ファイル

科目名	ロジカルシンキング	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	前期
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義40% 実習60%
時間数	30	作成者	橋本沙也加

【科目の到達目標】

ブランドや商品などをクリエイションするための手法の基礎を、講義や実習を通して複合的に学び、デザインアイデアの源泉からプロダクトアウトまでを、一貫した流れで構築する力を身に着ける。
海外でも実践される新たな学習スタイルを取り入れながら、デザインクリエイションについて学ぶことができる。

【科目の概要】

クリエイションの種になる思考法やマーケティング手法を吸収し、学びの過程で各学生が掲げるテーマを実習によってアウトプットすることで手法の定着化を図る。最終的には、総合的なクリエイションの知識・企画技術を動員してオリジナルのファッションブランドの企画書を構築することを目指す。□

【授業計画

90分/コマ

- 1 オリエンテーション 講義：現状の社会を理解する
- 2 講義： 私たちに、これから必要とされる物事を創造するために必要とされる手法
- 3 自己分析1 講義： 自己分析の重要性とその客観的分析手法
- 4 演習： マインドフルネスシート作成
- 5 演習： マインドフルネスシート作成 続き・発表
- 6 思考法1 講義： デザインシンキングとロジカルシンキングの概要と活用方法
- 7 実習： デザインシンキング手法を活かしたファッションデザイン
- 8 思考法2 講義： ターゲティングの重要性とペルソナ設定 制限性と発展性について
- 9 演習： デザインシンキングで深めたファッションデザイン企画にペルソナを設定しよう
- 10 思考法3 講義： デザインシンキング コンセプト設計
- 11 実習： デザインシンキングで深めたファッションデザイン企画のコンセプト作成
- 12 思考法4 講義： デザインシンキング プロトタイピングの活用方法 基本型
- 13 実習： デザインシンキングで深めたファッションデザイン企画のプロトタイプ作成 初段階
- 14 全体の資料作成
- 15 発表
- 16 予備日

【成績評価方法】

提出物の評価 40%、 期末試験、発表、参加度 45% 授業出席 15%

【教科書・参考書】

プリントや授業テキストデータを配布

【教材・教具】

PC、専用のノート、ファイル

科目名	美術史・デザイン史		
学科	ファッション・プロデュース学科	期	前期
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 70% 実習 30%
時間数	30	作成者	高木 義隆

【科目の到達目標】
 現在のファッションを成立させてきた西洋文化の美術やデザインの歴史的背景と動向を理解し、ファッションデザインの意味を多様な視点で読み解く基礎知識を習得する。

【科目の概要】
 服飾文化は、西洋社会の文化的な背景と密接に関わりながら、現在のファッションを成立させている。特に高度な消費社会を迎えた20世紀において、西洋の美術、造形・デザインにおける潮流や著名な作品を解説しながら、ファッションを文化的な現象として体系的に解説する。

【授業計画】 90分/コマ

- 1 授業指針説明
01 ゴシック 02 ルネサンス 03 グーテンベルグ 04 バロック 05 ロココ
- 2 06 アーツ&クラフツ 07 ジャポニズム 08 ベル・エポック 09 アール・ヌーヴォー
- 3 10 ユーゲント・シュティール 11 ウイーン工房 12 ドイツ工作連盟 13 キュビズム
- 4 14 未来派 15 ロシア・アヴァンギャルド 16 ダダイズム 17 モダニズム
- 5 18 デ・スティール 19 バウハウス 20 アール・デコ 22 インダストリアルデザイン
(小テスト)
- 6 23 インターナショナル・スタイル 24 ミッドセンチュリー 27 CIデザイン 28 スイス・スタイル
- 7 21 アイソタイプ 25 オーガニックデザイン 26 プロバガンダ 29 オブ・アート
- 8 30 スカンジナビアン・モダン 31 ウルム造形大学 32 ミニマリズム 33 スペースエイジ
- 9 34 ブリコラージュ 35 サイケデリック 36 アーキグラム 37 東京オリンピック1964
- 9 38 ヒプノシス 39 スーパーリアリズム 41 ポストモダニズム 45 メンフィス
(小テスト)
- 10 42 ノーデザイン 43 ユニバーサルデザイン 44 アフォーダンス 46 サスティナビリティ
- 11 47 エコデザイン 48 トマト 49 ドローグ (アノニマス) 50 クリエイティブ・コモンズ
- 12 51 UI/UXデザイン 52 ソーシャルデザイン 53 コミュニティデザイン
54 インタラクションデザイン
- 13 55 コミュニケーションデザイン 56 オルタナティブ 57 クオリア 58 ソニフィケーション
- 14 59 フラットデザイン 60 パーソナルファブリケーション 授業まとめ
- 15 試験

【成績評価方法】
 試験50% 課題・小テスト40% 授業態度10%

【教科書・参考書】
 『絵ときデザイン史』 2015/9/17 石川 マサル (著), フレア (著)
 『デザインの20世紀 (NHKブックス)』 1992/11 柏木 博 (著)

【教材・教具】
 PC 投影モニター レジューメ

科目名	トレーニングタイム	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	後期
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20% 実習 80 %
時間数	30	作成者	高木 義隆

【科目の到達目標】

アパレル商品の基本アイテムのデザインやディテールなどの知識を基にハンガーイラスト、スタイル画を描画。また、素材表現やオリジナルなスタイル画が描ける。

【科目の概要】

現在の市場に適した商品デザインのバランスやディテールを解説し描画方法を学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 ファッション・ドローイング基礎—基本的立体と遠近法(復習)
- 2 ファッション・ドローイング基礎—人体の比率 9頭身の書き方 プロポーションアナライズ(復習)
- 3 ハンガーイラストとデザイン画着装—「シャツ・ブラウス」
- 4 ハンガーイラストとデザイン画着装—「スカート」
- 5 ハンガーイラストとデザイン画着装—「パンツ」
- 6 ハンガーイラストとデザイン画着装—「靴(サンダル・ハイヒール・ブーツ)」
- 7 頭部の書き方—頭部のプロポーション(髪型・パーツ)
- 8 スタイル画(S/S全身コーディネート)
- 9 ハンガーイラストとデザイン画着装—「帽子(キャップ・ハット・ヘッドドレス)」
- 10 ハンガーイラストとデザイン画着装—「鞆(トート・ボストン・ハンドバッグ)」
- 11 ハンガーイラストとデザイン画着装—「雑貨・アクセサリ—類(レザーアイテム・金属)」
- 12 スタイル画(トータルコーディネート①)
- 13 スタイル画(トータルコーディネート②)
- 14 デザイン画選手権 ラフ画(案)
- 15 期末試験

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

『スタイリングブック』グラフィック社 その他、ファッション雑誌など
『ファッションデザインテクニック』高村是州 グラフフィック社

【教材・教具】

筆記用具 ケント紙 クロッキー帳 描画用具(ペン マーカー 絵の具 色鉛筆 ガッシュ パステル)

科目名	海外研修II	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	後期末 8日間
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	2年	授業形態	リサーチ50% 講義50%
時間数	60	作成者	高木義隆

【科目の到達目標】
 研修先に赴き、現地の言語での講義を受講し、マーケティングやマーチャンダイジング等の知識を得る。
 帰国後、現地の市場をリサーチした内容をプレゼンテーション発表する。

【科目の概要】
 学校の授業で得たビジネス及びマーケティング等の知識と、英会話を基に現地の市場を視察、調査する。
 更に世界のトップブランドの生産工場見学で、川上から川下までの全体像を観る。
 また、海外のファッション都市の文化的背景やファッション市場の知見を広め、今後のビジネス展開に生かす。

【授業計画】 90分/コマ

- 1 研修施設での講義受講 (装飾美術館・現地ファッションスクールでの授業)
- 2 研修施設での講義受講 (現地ファッションスクールでの授業) グッチミュージアム鑑賞
- 3 研修施設での (現地ファッションスクールでプレゼンテーション) 市街地リサーチ
- 4 研修先 (クラッチバッグの生産工場見学・現地ファッションスクールの視察) 市街地リサーチ
- 5 研修先 (ウフィツィ美術館鑑賞) 施設リサーチ
- 6 リサーチレポートまとめ (グループワーク)
- 7 リサーチレポートまとめ (グループワーク)
- 8 発表 (海外研修報告会)

【成績評価方法】
 研修後のリサーチ課題発表 100%

【教科書・参考書】

【教材・教具】
 筆記用具 カメラ コンピュータなど